



有限会社伊東養鶏場／株式会社アシスト佐賀 ～採卵からカフェまで働く場を拡大する養鶏場経営～

佐賀県武雄市／佐賀県藤津郡太良町

近隣に特別支援学校^{*1}があり複数の卒業生の就労先であったことから、経営体の障がい者理解も深まっており、現在は15名の障がい者を直接雇用しています。省力化のための機械化を行わず、障がい者の分担する作業内容を明確にして習熟度を向上したり、障がい特性や体力に合った勤務時間の柔軟性や寮母を配置した宿泊施設の設置など生活面の配慮が、障がい者雇用を安定させています。卒業後も特別支援学校時代の恩師が卒業生と雇用主の両方の相談先になっているなど、就職先と特別支援学校の信頼関係が醸成されています。また、関連会社による就労継続支援A型事業所^{*2}への業務委託や市街地での鶏卵や洋菓子販売店舗の展開による6次産業化にも取り組んでいます。

法人経営概況

① 経営内容

畜産専業 採卵養鶏:12万羽
卵生産:5.5t
耕種複合部門:なし
多角化 関連会社による店舗販売
洋菓子加工販売、レストラン経営

② 労働力

35名

③ 法人形態

有限会社

④ 特徴

採卵鶏飼育開始 昭和36年(昭和57年法人化)

障がい者の就労状況

① 人数

29名 15名は雇用、14名は業務委託

② 労働条件や福利厚生

2ヵ所の農場の鶏舎や販売店舗で勤務
障がい特性に応じた勤務時間、宿泊施設あり

③ 雇用の経緯

人手が必要、ハローワークの紹介
特別支援学校からの働きかけ
障がい者に適した仕事の切り出しが可能

立地条件など

佐賀市から西へ約40km、鉄道や自動車約1時間の農村地域。農場は2ヵ所、販売店舗は市街地に3ヵ所。



障がい者が主に担う作業

- 障がい者の主な業務は、
 - ① 鶏舎など場内を清掃する
 - ② 鶏の移動、巡回をして鶏や鶏舎に異常がないか確認して管理者に報告する
 - ③ 産んだ卵を集める
 - ④ 卵を洗う、選別する
 - ⑤ 卵をパック詰めすることです。

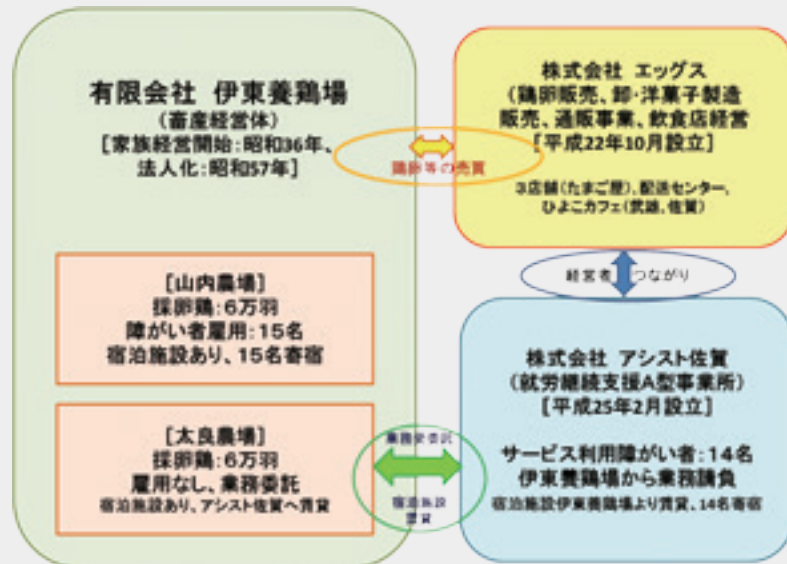
店舗での食器洗いや接客・販売補助なども障がい特性や程度に応じて担っています。



(写真提供：佐賀県畜産協会)

経営体の相互連携

- 伊東養鶏場という法人畜産経営体を中心に、障がい者が担う業務の委託・請負作業の関係がwin-winに構築されています。
- 課題となりがちな障がい者の生活の場を、経営体が保有する宿泊施設への寄宿や賃貸による宿泊施設に入寮させることで解決しています。
- 6次産業化の手法も取り入れて、消費者との交流を意識した店舗展開により、安定した販路を確保しています。



障がい者就労に関わる用語

- ※1 特別支援学校 → p.57
- ※2 就労継続支援A型事業所 → p.56

関連情報

法人URL <http://ito-eggfarm.com/>
所在地 佐賀県武雄市山内町大字犬走2271-4

コラム

特別支援学校の 就職担当教員の立場から

畜産現場に関心を持ち、畜産に関わる仕事を体験したい生徒がいても、地域の畜産農家とのチャンネルがないと、職場体験やインターンシップの受け入れにつながりません。

生徒のみならず保護者にも畜産現場からの情報提供が必須であり、卒業後の進路選択肢としての広報を期待します。

なお、近隣の特別支援学校から一般就労した平成26年度卒業生4人のうち1人が農畜産業でした。



有限会社石橋ブロイラー／株式会社ISN福祉サービス ～グループ会社を設立して障がい者雇用を安定化～

佐賀県西松浦郡有田町

石橋ブロイラーは昭和45年に肉用鶏事業を開始して、現在約16万羽を飼養するブロイラー農家です。平成5年から障がい者雇用に取り組んでおり、平成15年には法人化しました。その後、福祉制度の改正を機に、関係機関の助言もあり、福祉サービスを提供する別会社を設立、障がい福祉サービスを充実して、平成26年には就労継続支援A型^{※1}の認定を受けました。そして、業務委託により障がい者の雇用機会の拡大に積極的に取り組んできました。また、近隣の特別支援学校^{※2}の卒業生を多く受け入れ、鶏舎の近くにグループホーム^{※3}を建設するなど就労環境にも配慮して、障がい者の雇用先として地域に貢献しています。

法人経営概況

- ① 経営内容
養鶏
16万羽
- ② 労働力
家族2名、雇用8名、業務委託
- ③ 法人形態
有限会社（家族で開始、平成15年に法人化）
- ④ 特徴
業務委託先の株式会社ISN福祉サービスで8名の障がい者が就労している

障がい者の就労状況

- ① 人数と障がい種別
8名、知的障がい
- ② 就労形態
石橋ブロイラーから就労継続支援A型事業所であるISN福祉サービスが作業を受託。利用者が作業を担う（雇用契約、最低賃金以上）。
- ③ 通勤、住まい、食事など
石橋ブロイラーの経営するグループホーム2棟に居住
グループホームは、作業する鶏舎から近く通勤は至近
- ④ 特徴
障がい者の雇用は、平成5年から開始。

立地条件など

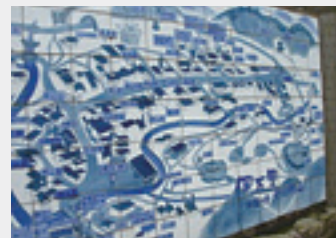
佐賀市から西へ約40km、鉄道や自動車約1時間。有田焼や伊万里焼など陶芸窯元も点在する農村地域。



グループホームから望む鶏舎



グループホーム「寺尾の里」



(写真提供：佐賀県畜産協会)

障がい者が主に担う作業

- 主な担当作業は、給餌補助・配餌、堆肥製造・袋詰め、飼養管理補助、出荷後の鶏舎の清掃、水洗等です。「機械化は障がい者の職域を狭くする。巨額の投資をして機械を導入するより、仕事を覚えて即戦力となればむしろ効率的な作業が行える」と経営主は判断しています。



飼料の供給作業（手作業時）
ヒナが小さい時期は一輪車やスコップを使用し餌を供給する



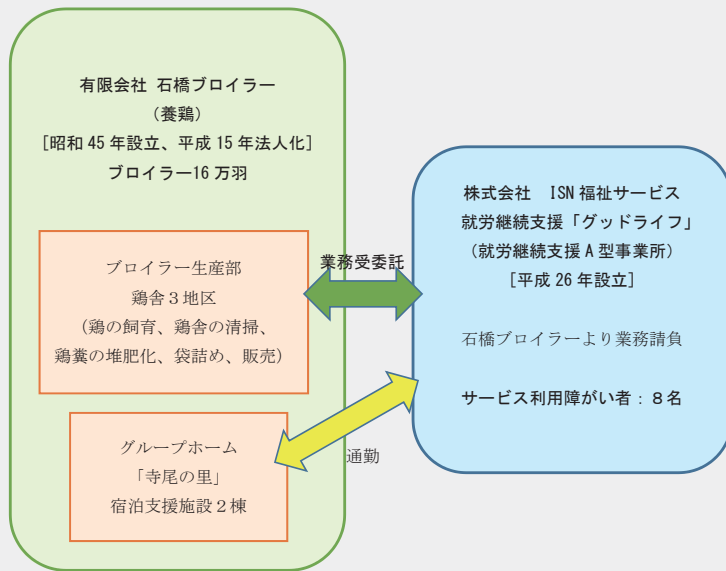
ヒナ健康状態の観察
動きが鈍いヒナを観察中



出荷後の清掃
鶏出荷後、鶏舎水洗前の清掃風景
(写真提供：株式会社 ISN 福祉サービス)

取り組みの経緯

- 学校や就労支援組織からの働きかけや紹介を契機に業務を見直したところ、障がい者に適した仕事があることに気づきました。
- 就業・生活支援センターやNPO、福祉事業者等をはじめ、行政機関と相談しながら進めてきています。
- 規模拡大を予定しており、調査翌年度には障がい者3名の増員が予定されていました。



障がい者就労に関わる用語

- ※1 就労継続支援A型事業所 → p.56
- ※2 特別支援学校 → p.57
- ※3 グループホーム → p.56

関連情報

所在地 佐賀県西松浦郡有田町下山谷

コラム

畜産現場の障がい者雇用を支える特別支援学校と福祉サービス

伊万里特別支援学校からは、これまでに伊東養鶏場およびISN福祉サービスへの卒業生の就職実績があります。職場体験では、畜産現場での実習も実施されており、伊東養鶏場と石橋ブロイラーのほかにも肥育牛農家らの協力が得られ、のべ50日の実習を行った実績があります(平成26年度)。一方、畜産現場への就職や実習を希望する生徒も例年いますが、進路選択においては、本人の希望のみでなく家族の意向も反映されます。また、畜産の施設は動物の伝染病予防等の観点から集落と離れたところに立地することも多く、通勤の便は必ずしも良くありません。こうした事情を考慮すると、早朝作業の多い畜産経営においては、障がい者が自立して暮らせる安全な宿泊施設を備えておくことが、障がい者雇用による安定的な経営継続のために大切なポイントの一つです。なお、宿泊施設を福祉事業制度の枠組みで設置・運営する方法もあります。



養鶏

九州



株式会社 大光食品／一般社団法人 光

～障がい者を大量雇用して地域の食と福祉を担う～

長崎県島原市

食肉処理を行う株式会社大光食品が、作業の一部を、福祉事業を行っているグループ会社の(一社)光に委託しています。(一社)光では、雇用契約を結んで障がい者が就労しており、主に地元ブランド鶏の食鳥処理において、ナイフを使った細かい作業を担っています。本書の中で最も雇用人数の多い事例です。大光食品グループでは、経営理念として「広く地域社会に貢献する」ことを掲げており、障がい者の就労機会の提供は、その一環として既に昭和50年代から開始されています。

法人経営概況

① 経営内容

食肉処理業、食肉販売、食肉加工製造販売、飼料販売ほか

食肉加工作業の一部を、福祉事業所(就労継続支援A型)に作業委託

② 労働力

従業員約280名(雇用113名、アルバイト・パート170名)

③ 法人形態

株式会社

④ 特徴

昭和44年創業、島原市では年間100億円以上を売り上げる大規模な会社経営。グループ会社としては、(株)エースフーズ、(一社)光、農業法人大光ファームを加えた4社から構成される。

豚カット肉は月間3,500頭、食鳥処理は月間約11万羽。

障がい者の就労状況

① 人数と障がい種別

大光食品グループ全体で 計46名
(知的障がい:43、身体障がい:2、精神障がい:1)

② 就労形態

ア 大光食品での直接雇用10名

イ (一社)光(就労継続支援A型事業所^{*1})の利用者30数名

雇用契約あり、最低賃金以上

(株)大光食品および(株)エースフーズから(一社)光が委託された作業に従事。通年で作業あり。

立地条件など

島原市は、県南西部の島原半島東端に位置し、有明海へ伸びる傾斜地にあります。温暖な気候で、「名水百選」や「水の郷」にも選定された豊かな自然に恵まれた地域です。地理的に都市部から遠隔な当地域は、若年労働力の流出傾向が特に著しいことから、労働力需要に対して慢性的な人手不足が生じています。食肉加工部門を担っている障がい者に対する関係者の信頼と期待には大きなものがあり、実際に就労機会を得た障がい者がその期待に十分応えています。

障がい者が主に担う作業

障がい者の担う主な作業は、鶏肉(雲仙しまばら鶏)の解体処理で、切れ味のよいナイフを使用した細かな精肉作業です。障がい者は重要な労働力として大いに期待されています。

この作業は、図のように、大光食品から(一社)光の光事業所に委託されている作業であって、光事

業所の中で完結させる必要があります。光事業所では、大光食品島原工場のラインの一部と機械を賃借して作業場に行っていますが、作業の手順などの指導は光事業所の支援員が行い、商品管理は光事業所の職員や利用者（障がい者）が行って、完成品を大光食品に納品します。請負作業については、隣り合わせで作業をしても、指揮命令系統の明確な区分に留意する必要があるからです（コラム参照）。また、光事業所では、障がい者の安全管理や健康状態への配慮等については、大光食品から出向してきた3名が支援員として担っています。

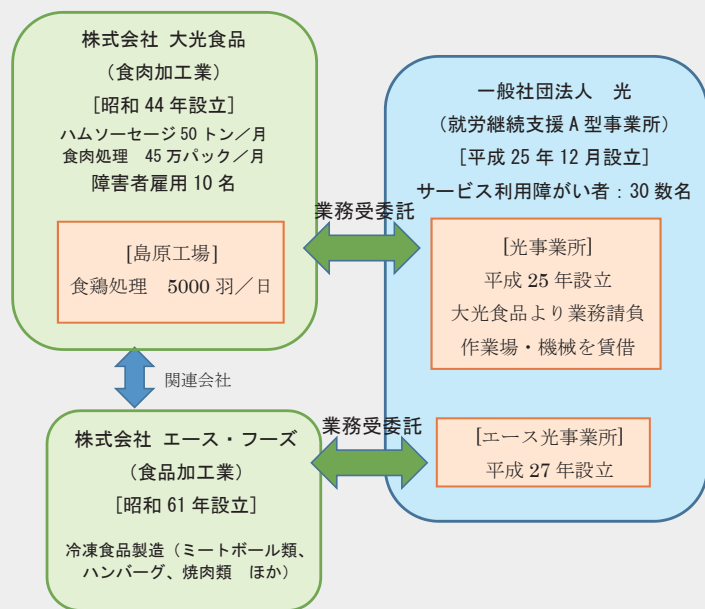
また、障がい者の担う作業の委託元である、グループ会社の（株）エースフーズからは、（一社）光のエース光事業所において冷凍食品の食品加工の作業を請け負っています。

■ 取り組みの経緯

大光食品グループでは、経営理念として「広く地域社会に貢献する」ことを掲げており、障がい者の就労機会の提供は、先代社長の昭和50年代から既に開始されていました。グループ会社として平成25年に一般社団法人「光」プロイラー事業所を設立し、就労継続支援A型事業所として認定を受け、翌年には就労継続支援B型事業所^{※2}が加わり、多機能型事業所となりました。さらに平成27年には、近隣の市内瑞穂町にエース光事業所を開設するなど、取り組みを拡大させています。この間、地元で先進的に障がい者の就労に取り組んでいる社会福祉施設に相談したり、自ら関連制度等を学んだりしながら、進めてきました。

近年は、経営者が、第三セクター職業訓練法人長崎能力開発センターの役員を務め、卒業生の雇用促進や社会福祉施設の生産品の販売協力を行うなど、自社の経営のみでなく、広く地域全体をみながら、障がい者の就労支援に積極的な取り組みを続けています。

3年ほど前に諫早の特別支援学校から依頼された、春休み・夏休みを活用した年4～5回の研修に、生徒が通って来ています。



障がい者就労に関わる用語

※1 就労継続支援A型事業所、※2 就労継続支援B型事業所 → p.56

関連情報

法人URL <http://www.shimabarakobo.com/>

所在地 長崎県島原市本町甲183-1

コラム

作業委託（請負作業）における留意点

畜産経営体等が福祉事業所に作業を委託するケースでは、畜産経営体の職員と、福祉事業所の利用者である障がい者とが、同じ農場内や工場内で作業を行う場合も少なくありません。この際、「労働者派遣」と「請負」とでは労働者の安全衛生の確保や労働時間管理等に関する責任の所在が異なるため、業務の遂行方法に注意が必要です。

この事例では大光食品の職員が、光事業所の職員と利用者、現場で作業指示や作業指導はできません。もちろん、日常会話など、業務に関係のない会話をすることは構いません。詳しくは、都道府県労働局等にご確認ください。



社会福祉法人 南高愛隣会

～アニマルセラピーなど幅広い取り組み～

長崎県雲仙市

社会福祉法人南高愛隣会は、「幸せを実感できるサービスの提供を」を合言葉に、障がいのある方の地域生活への希望を叶えるために活動しています。知的障がい者を中心に長崎県下(諫早市、長崎市、佐世保市、雲仙市、島原市)で約1,000名の利用者へサービスを提供しています。

独自の営農事業に加え、外部の農業法人や食品会社と積極的に連携し、生産・飼育から販売までを一貫して行う「農福連携」を推進し、牛・馬の飼育や養鶏を行っています。

また、馬による療育乗馬(乗馬のリズミカルで滑らかな動きが姿勢やバランス感覚を改善しアニマルセラピー効果も期待)にも取り組んでいます。

法人経営概況

① 経営内容

和牛・地鶏の飼育(平成27年12月現在)

- 黒毛和牛34頭(肉牛用:22頭、育成牛:2頭、子牛:10頭)
- 長崎県在来種を改良したブランド鶏「つしま地どり」を飼育
年間出荷羽数 約7,300羽

② 法人種類

社会福祉法人

③ 特徴

長崎県地域和牛共進会において銅メダル受賞(平成25年)

立地条件など

長崎県の県央地域では、平野部から中山間地域までの様々な地形条件を生かし、多様な農業が営まれています。



干拓地では大規模な畑作が行われています。

障がい者の就労状況

① 就労形態

黒毛和牛の肥育は、日中活動を行う雲仙市の事業所で実施

養鶏は、民間企業からの受託作業として実施

② 通勤、住まい、食事など

法人内で、複数の入所施設やグループホームを運営

③ 特徴

療育乗馬は、昼間の活動(生活介護)の一環として、雲仙市や諫早市にある事業所で実施しています。法人外部からの来訪者の体験乗馬も行っています。(調査時点では休止中)

諫早市の事業所では、市の複合遊園施設「干拓の里」(干拓資料館や遊具などがある)内にある小動物園の管理を受託しています。小動物園には、ポニー、羊、ロバ、ウサギなどが飼育されています。



(写真：社会福祉法人南高愛隣会 Web サイトより)



コ ラ ム

特別支援学校との連携にむけて

大村市にある県立虹の原特別支援学校では、授業や課外活動の一環として、生徒がブロイラー農家やJA、壱岐にあるキャトル・ステーション(子牛の共同育成施設)などで実習したり、卒業後に就職したりしています。学校側には、見学や体験を通して生徒らの畜産への興味を広げ、畜産分野での雇用の幅を広げたい意向があり、今後の相互理解と連携が期待されます。

一般的に特別支援学校では、学年ごとに就労体験実習の時期が決まっており、前年度中にカリキュラムが予定されます。畜産現場での実習受入れが可能であれば、前年度の早い時期に、学校に対して「どこに所在する畜産現場で、どの時期にどんな仕事があって人手が足りないのか」という情報提供があるだけでも助かるということです。

また、畜産(肉用牛)が盛んな壱岐対馬の島しょ部から来ている寄宿生は、地元に戻りたいためキャトル・ステーションなどを就労先の一つとして考えているようでした。もちろん、全ての作業をこなすことはとてもハードルが高いでしょう。しかし、畜産現場の理解が広がり、作業を切り分けることができれば、就労の機会が大きく広がると期待されます。



コ ラ ム

機会・条件が合えば障がい者雇用を考えているAさん

南高愛隣会の事業所のある市に住むAさんは、酪農80頭と畑作を行う耕畜複合経営の法人経営主で、家族二世帯5人のほか従業員・アルバイト4名とともに働いています。市内では、農業法人協会の役員等を歴任するリーダー的存在で、市からの勧めもあり、農業法人として社会貢献したいと障がい者雇用を検討しています。

経営者の多くは、酪農部門での作業は、障がい者にとって危険な作業が多いと考えています。また、適した業務の切り出し方や、他の従業員とのコミュニケーション、障がい者への仕事の指導方法等に不安があるようです。農場内には、酪農部門の掃除、畑作部門の草取りなど、障がい者が担いやすい作業も多くあり、作業をいかに切り出し、選択し、担当者と適合させていくかが課題のようです。

見学者による自問自答

- ①この経営規模と作業形態では、障がい者の常時雇用はむずかしい。
- ②作業の切り分けによる単発の就労機会の提供が有効。
- ③切り分けた作業を委託作業として社会福祉法人等(就労継続支援B型であればなお良い)と契約することも選択肢の一つ。特定の時期に一定の人数に作業に来てもらう。農業経営主は、対価を社会福祉法人等の委託先に委託料として支払う。
- ④農場への移手段、作業監督者の配置などが課題。
- ⑤農福連携では、必ずしも雇用だと思わず、寄付による社会貢献だと考えてもよいのではないか。その場合、税制上の特典を設けることも有効。

関連情報

法人URL <http://www.airinkai.or.jp/>

所在地 長崎県雲仙市瑞穂町古部甲1572(法人本部)

社会福祉法人 白鳩会／農事組合法人 根占生産組合

～農畜産業を礎に就労の場を地域に創出～

鹿児島県肝属郡南大隅町



3年程度の社会適応訓練で障がい者に自立を促すことに限界を感じた社会福祉法人白鳩会が、就学期を終えた障がい者に就労の場を提供するため農事組合法人根占生産組合を設立して、当時唯一の地場産業であった農畜産業による障がい者雇用を実現した先駆的な取組です。障がい者に生活と就労訓練の場を提供しつつ、養豚や茶の栽培を主体とする農事組合法人の農作業を受託して障がい者への工賃^{※1}を確保し、利用者の需要に合わせた障がい福祉サービス事業を展開しながら障がい者の職域拡大に努めてきました。事業の拡張は、後継者不足により遊休化する農地の活用や地域住民の雇用機会の創出にも直結して、地域での社会貢献も多大なものです。さらに、鹿児島市内でのアンテナショップ機能を兼ねた食品加工の就労系事業の展開は、消費者との関係性を深め、販路の開拓とともにブランド化による付加価値や働く障がい者の達成感を高めることにも寄与しています。

法人経営概況

花の木農場

①養豚

母豚150頭 3,000頭／年出荷
肉牛25頭、牧草畑3.5ha、茶園7.5ha、水稻3ha、
ニンニク6ha、野菜1.3ha等

②耕作地総面積

45.1ha

③売上額上位

肉豚、茶、ニンニク、肉牛、米

④従業者数

職員52名、利用者102名
加工部門・レストラン・物販あり 6次化

障がい者の就労状況

①雇用の経緯と現況

福祉施設が農事組合法人を設立、農業参入
農事組合法人で雇用6名、社会福祉法人の就労系事業所で福祉的就労を主体に約170名の利用者が施設外就労(H29.1時点、鹿児島市内の事業所は除く)

②仕事の内容と班構成

養豚、茶園、茶工場、肉牛、精肉・解体、ハム・ソーセージ、ニンニク、トマト、花、水耕、野菜、茶加工、パン・惣菜 など

③就労現場で工夫している支援方法

日頃からの声かけで尋ね易く／習慣化まで繰り返して量・大きさの判断を／特性に合った作業／工程を分解して一つずつ指導／先輩利用者が後輩利用者に教えて共同作業を誘導／できる作業を任せる



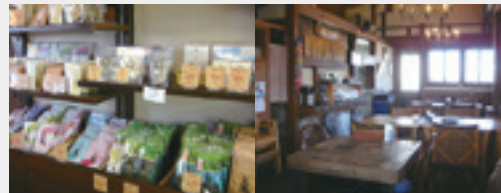


レストランは、佐多岬方面への沿道にあり、立ち寄る観光客のほか、事業所の利用者らメンバーにとって特別な日の昼食スポットとしても機能しています。

コラム

触法障がい者に対する取組

近年では、地域生活定着支援センターや更生保護施設など関係機関からの要請もあり、触法障がい者受入の取組も始めています。法人の相談支援センターを通じて、就労継続支援A型、B型の事業所^{*2}で他の利用者らと一緒に汗を流しています。



立地条件など

- 地域の基幹産業が第一次産業であり、農畜産業を主体とする就労支援が適合しています。観光資源も多く、地域との密度の高い関係性に加えて来訪者を見込んだ6次産業化の展開余地が大きくなっています。
- 交通の便は悪く、県都にも空港にも航路や主要道路で2時間以上かかりますが、湾を隔てた開聞岳や田園の自然環境は絶景といえます。
- 広大な土地でゆったりとした生活介護サービスや就労支援サービスを障がい者に提供することができます。



茶園の先は錦江湾。その向こうに開聞岳

留意点、工夫してきたことや当面の課題

- 養豚は、法人運営の屋台骨。茶の栽培とともに設立当時から取り組む、福祉事業所としての重要な農作業です。今日では、法人の運営を特徴づけるばかりでなく、福祉の側面のみならず雇用機会の創出やブランド性という点でも、地域の産業を支えています。
- 移転した厩舎が清流河川の水源地に近いことから、最新の糞尿処理技術を積極的に取り入れるなど、環境保全対策には新しい技術を取り入れてコストをかけています。
- 豚舎の老朽化が進み、分娩室などの衛生管理水準の向上が喫緊の課題となっています。



建物は古くても管理が行き届いた豚舎



肉牛



養豚



加工ほか



水源に近い豚舎の環境対策、グループホームもあり分娩対応も迅速

■ 経営、マネジメント

- 法人経営には、地域社会からの理解が得られることをモットーに、外部有識者の客観的判断を取り入れる審議会方式を導入しています。
- 職員と利用者が一体となって働く班構成と分野ごとに責任を持つマネージャー制度を導入して、利用者の参加意欲の向上とともに、従業員の主体的な経営参加にも配慮しています。
- 経営収支については、役員報酬削減で健全財政を維持している側面もあり、事業の採算性確保も大切な視点となっています。



花の木農場では、農畜産業の営みの中で田園風景やバーベキューが楽しめる

社会福祉法人の市街地サテライトの役割

- 複数の福祉事業所の農作業が展開される南大隅町を生産拠点とすると、鹿児島市中心部に位置する事業所は、障がいのある人たちへの生活介護や就労支援サービスが主体です。そして、消費地での物流拠点の役割を兼ねています。

通所施設・花の木カノンは、鹿児島市内にある「花の木」を冠する3つの事業所の中でも、「まちのホットステーション」として交流の場をも提供できるよう、カフェの接客業務も含めた多種目の就労支援サービスが、幅広い年齢層の利用者に提供されていることが特徴の一つです。



オシャレで親しみの持てる事業所1階の店舗は、大通りに面しており立ち寄り客も多い
児童の放課後等デイサービス（定員10名）を市から委託され日中一時支援事業も実施

- 市街地でアンテナショップ機能を持たせた福祉事業所の展開や消費者との法人内で生産している商品のブランド化を重視していることは、福祉事業所が安定した運営を行い、利用者への充実した生活介護や就労支援サービスを提供するための大切な経営戦略であると言えます。観光ターミナルの商業施設にもジェラートの店を出しており、夏場を中心にリピーターも増加しています。

● 利用者の1日の標準的なスケジュール

利用者の作業時間は、昼食休憩をはさんで
実働5時間／日が標準になっています。

（「花の木カノン」の休業日は、利用者も休日）

9:30 出勤（通所：公共交通も便利）

作業・余暇活動など

11:30 昼食および休憩

13:00 作業・余暇活動など

16:00 帰宅開始



売店で販売されている自家製クッキー
（西郷どん、市電の正面、ブタさん）

障がい者就労に関わる用語

※1 工賃 → p.56

※2 就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所 → p.56

関連情報

法人URL <http://shirahatokai.jp/>

所在地 鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北2105



肉牛



養豚



加工ほか